

# 交通安全のために

～令和4年中の交通事故から～



**「ACTION38 キャンペーン」実施中！！**  
～三重県から歩行者保護の行動（ACTION）を起こす～



## 三重県警察本部

三重県交通安全県民運動スローガン

やさしさが 安全つなぐ 三重の道

～ 歩行者の ハンドサインは 赤信号 ～

# 目次

---

第1	都道府県別交通事故発生状況	1
第2	交通情勢からみた三重県の位置	2
第3	三重県の交通事故発生状況	3～16
1	交通事故発生状況	3
2	過去10年の年別推移	3
3	市町別	4・5
4	月別	6
5	曜日別	6
6	時間別	7
7	路線別	7
8	地形・道路形状・道路線形別	8
9	事故類型別	9
10	第1当事者の年齢層別	10
11	第1当事者の事故原因別	11
12	第1当事者の職業別	12
13	死傷者の年齢層別	13
14	死傷者の状態別	14
15	シートベルトの着用状況	15
16	ヘルメットの着用状況	16
第4	各種の交通事故	17～25
1	子供の交通事故	17
2	高校生の交通事故	18
3	高齢者の交通事故	
(1)	全体	19
(2)	高齢運転者	20
4	歩行者の交通事故	21
5	自転車の交通事故	22
6	二輪車の交通事故	23
7	若年運転者の交通事故	24
8	飲酒運転の交通事故	25

## ● 用語の意味 ●

- ★交通事故 …… 路上において、車両及び列車の交通によって起こされた事故で、人身事故及び物件事故をいう。
- ★人身事故 …… 人の死傷を伴う交通事故をいう。
- ★物件事故 …… 物の損壊のみの交通事故をいう。
- ★死亡事故 …… 人身事故のうち、人の死亡を伴う交通事故をいう。
- ★死者 …… 交通事故発生後24時間以内に死亡した者をいう。
- ★第1当事者 …… 交通事故に関与した人のうち、過失が最も重い者をいい、過失が同程度の場合は、被害が最も軽いものをいう。
- ★構成率 …… 全体(合計)に占める各項目の構成割合をいい、四捨五入してあるので合計と一致しないものもある。
- ★致死率 ……  $\text{死者数} / \text{全死傷者数} \times 100$ をいう。
- ★死傷者率 …… 全死傷者数に占める各種の交通事故(子供・高校生の交通事故等)の死傷者数の構成割合をいう。
- ★事故類型 …… まず、事故を当事者の種類(人又は車両)によって類型化し、次いで当事者の事故時の行動等(動き、位置、衝突物等)によって更に細かく類型化したもの。
- ★状態別 …… 事故当事者の事故当時の状態(自動車運転中、自動車同乗中、歩行中等)をいう。
- ★車両等 …… 自動車、二輪車(原付車を含む)、自転車をいう。

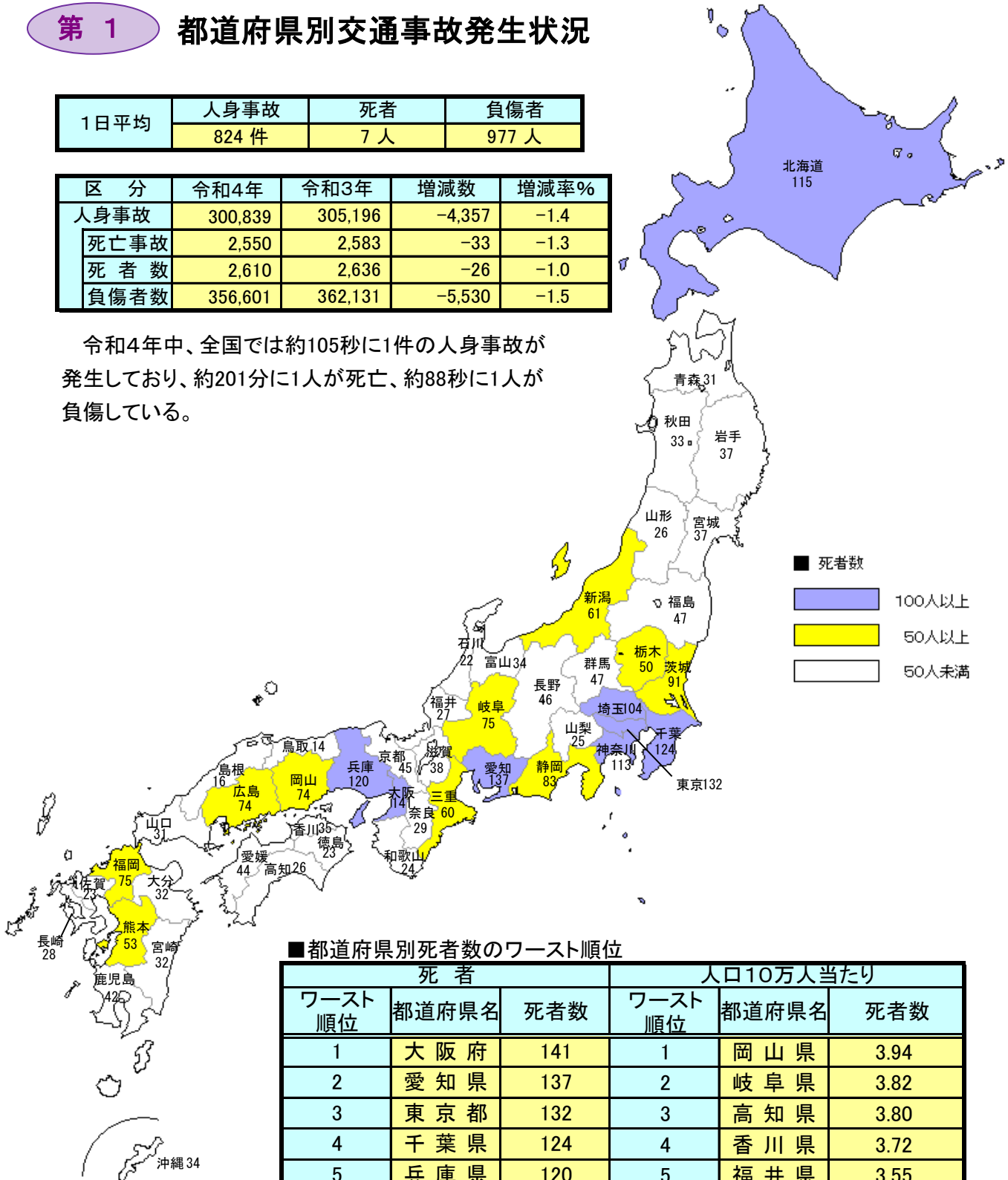
# 第 1

## 都道府県別交通事故発生状況

1日平均	人身事故	死者	負傷者
	824 件	7 人	977 人

区 分	令和4年	令和3年	増減数	増減率%
人身事故	300,839	305,196	-4,357	-1.4
死亡事故	2,550	2,583	-33	-1.3
死者数	2,610	2,636	-26	-1.0
負傷者数	356,601	362,131	-5,530	-1.5

令和4年中、全国では約105秒に1件の人身事故が発生しており、約201分に1人が死亡、約88秒に1人が負傷している。



都道府県別死者数のワースト順位

死 者			人口10万人当たり		
ワースト順位	都道府県名	死者数	ワースト順位	都道府県名	死者数
1	大阪府	141	1	岡山県	3.94
2	愛知県	137	2	岐阜県	3.82
3	東京都	132	3	高知県	3.80
4	千葉県	124	4	香川県	3.72
5	兵庫県	120	5	福井県	3.55
6	北海道	115	6	秋田県	3.49
7	神奈川県	113	7	三重県	3.42
8	埼玉県	104	8	愛媛県	3.33
9	茨城県	91	9	富山県	3.32
10	静岡県	83	10	徳島県	3.23
16	三重県	60	7	三重県	3.42

※人口10万人当たりの死者数は、総務省資料「令和3年10月1日現在推計人口」を使用

第 2

交通情勢から見た三重県の位置

区 分		三 重 県		全 国	備考 (年月日)
			順位		
人 口 (人)		1,756,000	22	125,502,000	令3.10.1
面 積 (km <sup>2</sup> )		5,774.48	25	377,973.26	令4.10.1
道路実延長 (km)		25,485.5	22	1,227,422.3	令3.3.31
免 許	人 口 (人)	1,244,270	22	81,840,549	令4.12.31
	保 有 率 (%)	70.86	9	65.21	
	県民1.41に1人の割合			国民1.53に1人の割合	
自 動 車	台 数(原付・小特除く) (台)	1,533,470	21	82,565,091	令3.12.31
	保 有 率 (%) (自動車1台当たり)	87.33 (1.15人)	12	65.79 (1.52人)	
原 付	台 数(1・2種) (台)	98,628	20	6,525,177	令3.7.1
	保 有 率 (%) (原付車1台当たり)	5.62 (17.8人)	20	5.20 (19.23人)	
交 通 事 故	人 身 事 故 件 数	2,917	25	300,839	令4年中 (ワースト順位)
	人口10万人当たり	166.12	33	239.71	
	死 者 数	60	16	2,610	
	人口10万人当たり	3.42	7	2.08	
	免許人口1万人当たり	0.48	8	0.32	
	自動車1万台当たり (原付含む)	0.36	8	0.29	
	道路1000km当たり	2.35	16	2.13	
	1億走行台キロ当たり	0.60	15	0.58	
致 死 率	1.62	10	0.73		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口は、総務省資料「令和3年10月1日現在推計人口」による。</li> <li>・ 面積は、国土地理院資料による。</li> <li>・ 道路実延長、自動車台数は、国土交通省資料による。原付台数は、総務省資料による。</li> <li>・ 免許人口、交通事故(人身事故件数、死者数)及び1億走行台キロは、警察庁資料による。</li> <li>・ 人口10万人当たりの算出根拠は、総務省資料の「令和3年10月1日現在推計人口」である。</li> <li>・ 致死率は、死者数÷死傷者数×100をいう。</li> </ul>				

### 第 3 三重県の交通事故発生状況

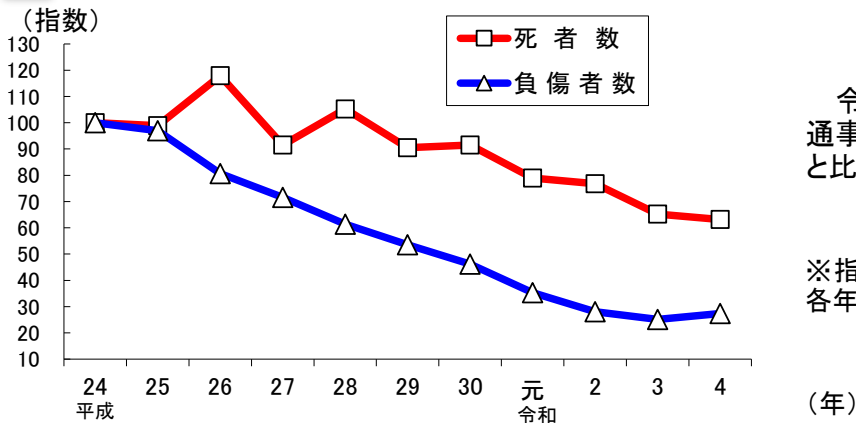
## 1 交通事故発生状況

区 分	人身事故	死者	負傷者
1 日 平 均	8.0 件	0.16 人	10 人

区 分	令和4年	令和3年	増減数	増減率%
人 身 事 故	2,917	2,722	195	7.2
死亡事故	59	59	0	0.0
死者数	60	62	-2	-3.2
負傷者数	3,638	3,338	300	9.0
物 件 事 故	49,553	47,143	2,410	5.1

令和4年中、三重県では、約180分に1件の人身事故が発生しており、約6日に1人が死亡、約144分に1人が負傷している。

## 2 過去10年の年別推移



令和4年中の三重県内における交通事故死者数は、10年前の平成24年と比べると約37%減少した。

※指数は、平成24年を100とした場合の各年の値である。

項目 年	人 身 事 故						物 件 事 故	
	発生件数	指数	死者数	指数	負傷者数	指数	発生件数	指数
平成 24 年	10,155	100	95	100	13,287	100	53,487	100
25 年	9,804	97	94	99	12,885	97	54,902	103
26 年	8,100	80	112	118	10,717	81	54,342	102
27 年	7,169	71	87	92	9,517	72	54,505	102
28 年	6,038	59	100	105	8,158	61	54,994	103
29 年	5,441	54	86	91	7,113	54	56,464	106
30 年	4,687	46	87	92	6,136	46	55,885	104
令和 元 年	3,647	36	75	79	4,688	35	53,809	101
2 年	2,966	29	73	77	3,732	28	46,250	86
3 年	2,722	27	62	65	3,338	25	47,143	88
4 年	2,917	29	60	63	3,638	27	49,553	93
平成24～令和3年平均	6,073	—	87	—	7,957	—	53,178	—

■三重県警察が設置された昭和29年以降における死者の最高を記録した年の発生状況

昭和46年	9,495	—	352	—	13,243	—	10,293	—
-------	-------	---	-----	---	--------	---	--------	---

■三重県警察が設置された昭和29年以降における死者の最低を記録した年の発生状況

令和4年	2,917	—	60	—	3,638	—	49,553	—
------	-------	---	----	---	-------	---	--------	---

### 3 市町別

人口10万人以上の6市(桑名市・四日市市・鈴鹿市・津市・松阪市・伊勢市)で、人身事故の約74%(2,145件)が発生している。

- 最多……四日市市 653件 (22.4%)
- 最少……大紀町 3件 (0.1%)

※高速隊分を除く。

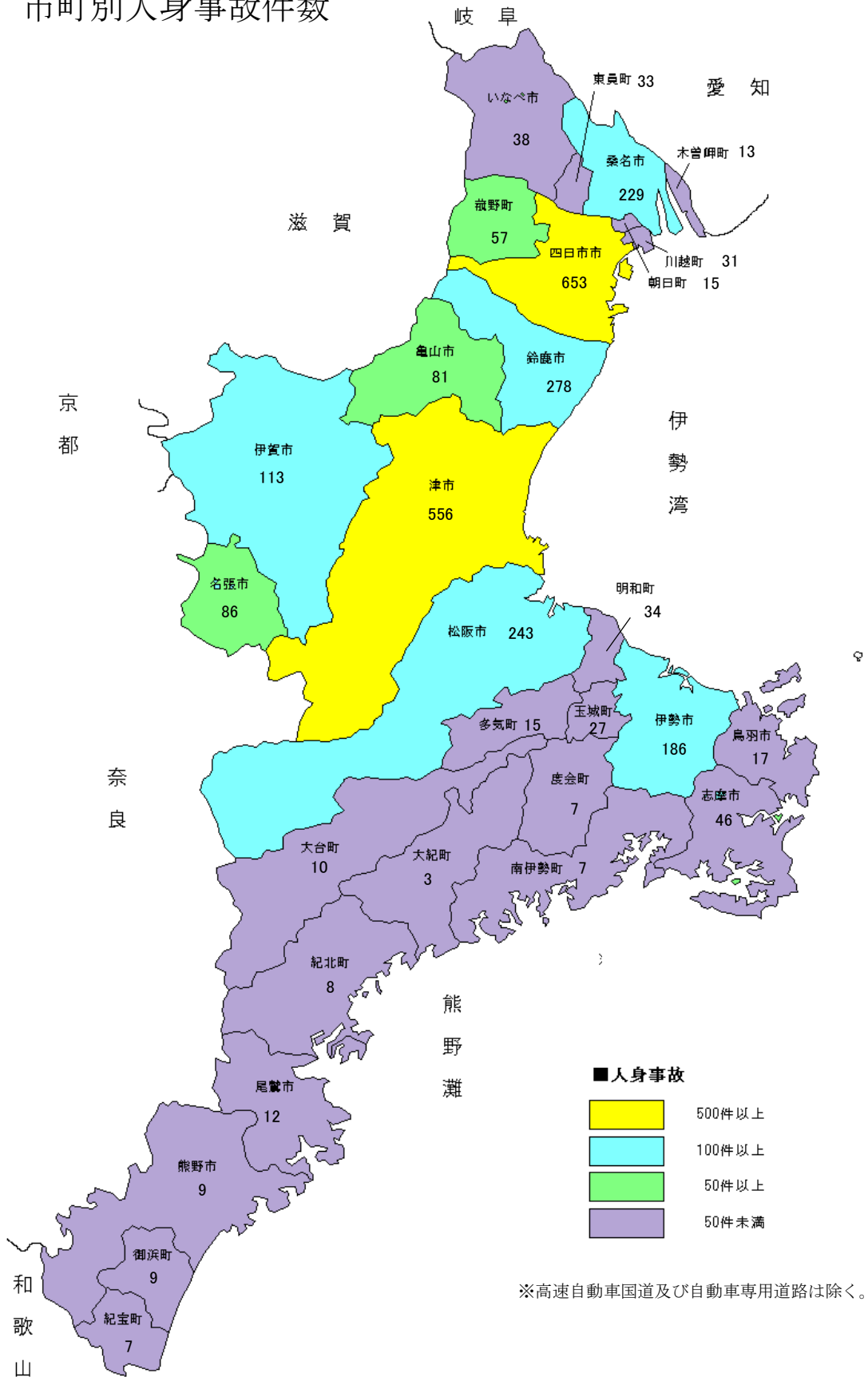
署	市 町	人身事故		
		件数	死者	負傷者
桑名	桑 名 市	229	2	281
	木 曾 岬 町	13	1	15
いなべ	い な べ 市	38	1	45
	東 員 町	33	0	45
四日市北	四 日 市 市	193	4	231
	朝 日 町	15	0	19
	川 越 町	31	0	39
四日市南	四 日 市 市	428	3	536
四日市西	四 日 市 市	32	1	35
	菰 野 町	57	0	69
( 四 日 市 市 計 )		653	8	802
亀山	亀 山 市	81	0	101
鈴鹿	鈴 鹿 市	278	9	343
津	津 市	385	5	486
津南	津 市	171	2	202
( 津 市 計 )		556	7	688
松阪	松 阪 市	243	8	293
	多 気 町	15	1	17
	明 和 町	34	0	48

署	市 町	人身事故		
		件数	死者	負傷者
大台	大 台 町	10	0	19
	大 紀 町	3	0	4
伊勢	伊 勢 市	186	4	224
	玉 城 町	27	1	29
	度 会 町	7	0	7
鳥羽	南 伊 勢 町	7	0	15
	鳥 羽 市	17	0	26
尾鷲	志 摩 市	46	0	51
	尾 鷲 市	12	3	11
熊野	紀 北 町	8	1	7
	熊 野 市	9	0	14
紀宝	熊 野 市	0	0	0
	御 浜 町	9	1	8
	紀 宝 町	7	1	7
( 熊 野 市 計 )		9	0	14
伊賀	伊 賀 市	103	5	122
名張	名 張 市	86	2	99
	伊 賀 市	10	0	11
( 伊 賀 市 計 )		113	5	133

高 速 隊	94	5	179
-------	----	---	-----

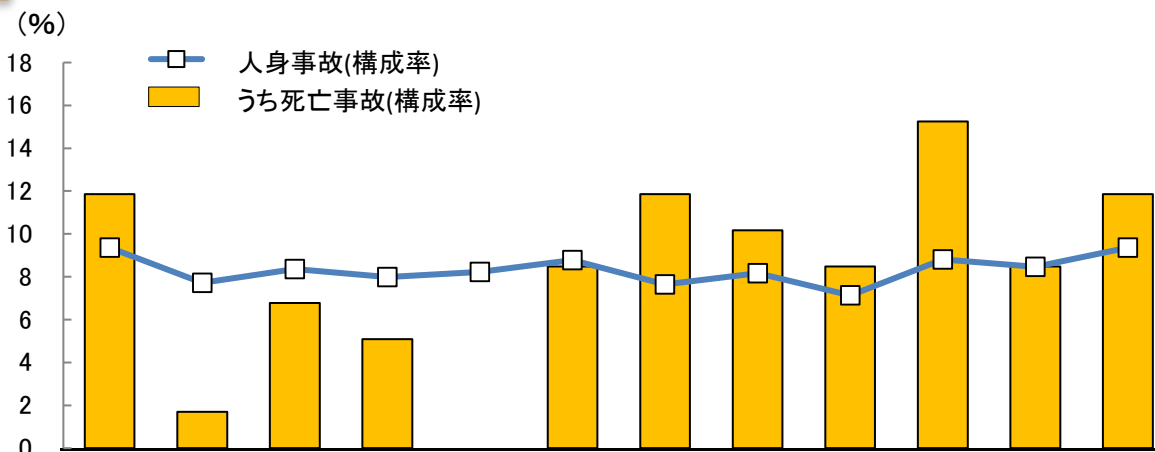
合 計	2,917	60	3,638
-----	-------	----	-------

# 市町別人身事故件数



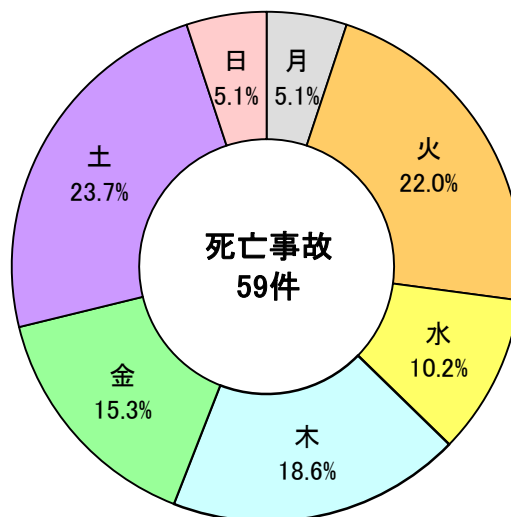
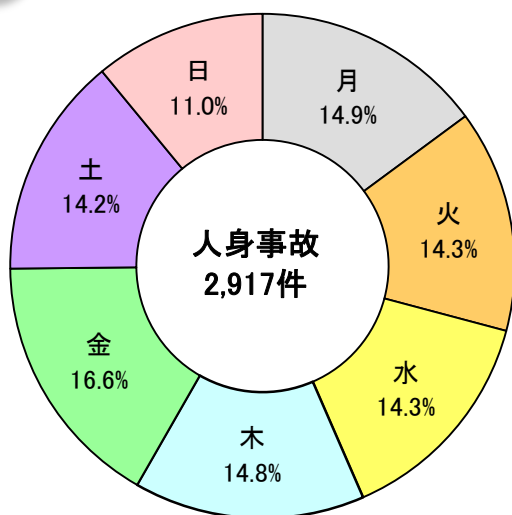


# 4 月別



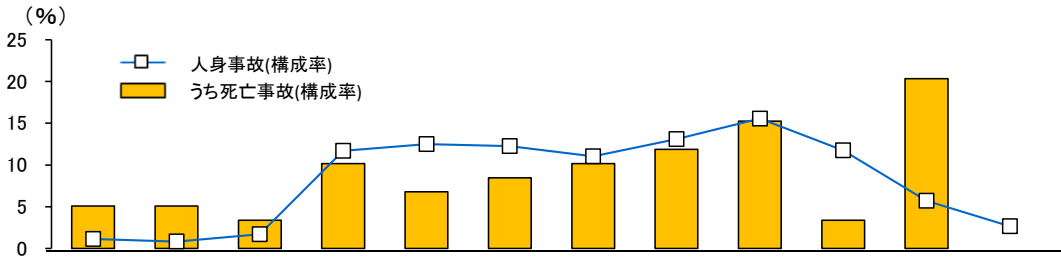
項目 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
人身事故(件)	273	225	244	233	240	256	223	238	208	257	247	273	2,917
構成率	9.4	7.7	8.4	8.0	8.2	8.8	7.6	8.2	7.1	8.8	8.5	9.4	100.0
うち死亡事故(件)	7	1	4	3	0	5	7	6	5	9	5	7	59
構成率	11.9	1.7	6.8	5.1	0.0	8.5	11.9	10.2	8.5	15.3	8.5	11.9	100.0

# 5 曜日別



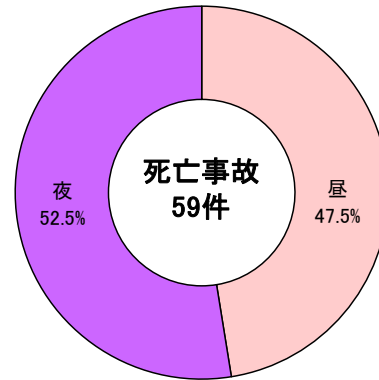
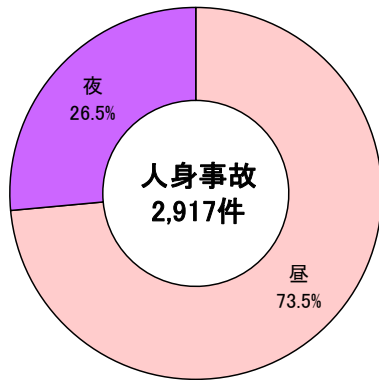
項目 \ 曜日	月	火	水	木	金	土	日	合計
人身事故(件)	434	416	418	432	483	414	320	2,917
構成率	14.9	14.3	14.3	14.8	16.6	14.2	11.0	100.0
うち死亡事故(件)	3	13	6	11	9	14	3	59
構成率	5.1	22.0	10.2	18.6	15.3	23.7	5.1	100.0

# 6 時間別



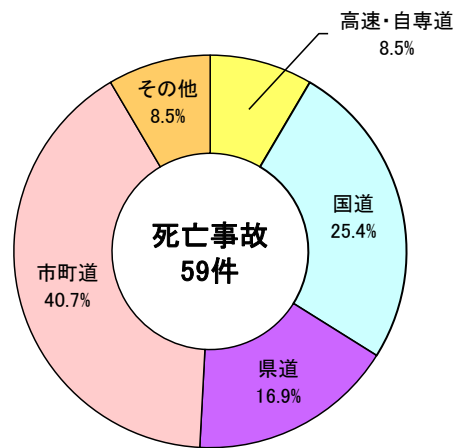
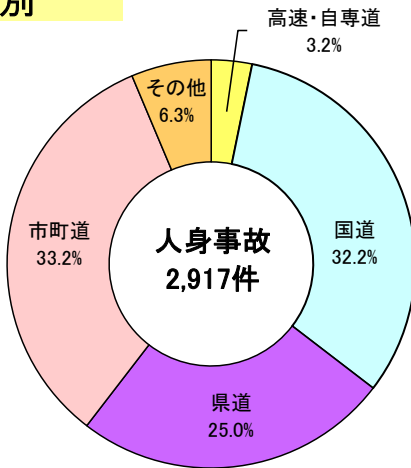
項目 \ 時間	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	合計
人身事故(件)	33	24	50	341	365	358	322	382	454	343	167	78	2,917
構成率	1.1	0.8	1.7	11.7	12.5	12.3	11.0	13.1	15.6	11.8	5.7	2.7	100.0
うち死亡事故(件)	3	3	2	6	4	5	6	7	9	2	12	0	59
構成率	5.1	5.1	3.4	10.2	6.8	8.5	10.2	11.9	15.3	3.4	20.3	0.0	100.0

## ☆ 昼夜別



※昼は日の出から日没までをいう。

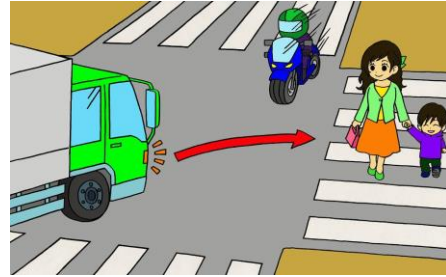
# 7 路線別



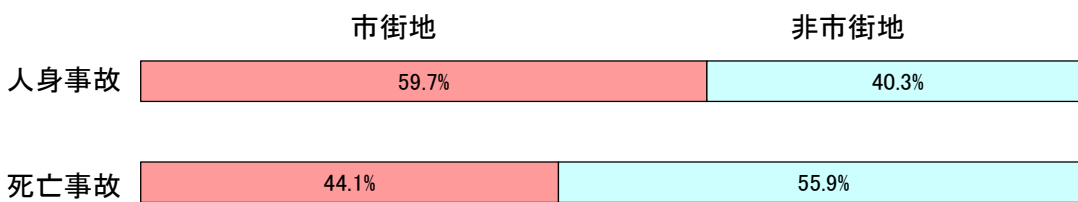
項目 \ 路線	高速	自 専 道				国 道					県 道			市道	町道	その他	合計
		熊野尾鷲	名阪国道	東海環状	小計	1号	23号	42号	他	小計	主要	一般	小計				
人身事故(件)	76	1	16	1	18	122	374	79	364	939	379	351	730	912	57	185	2,917
構成率	2.6	0.0	0.5	0.0	0.6	4.2	12.8	2.7	12.5	32.2	13.0	12.0	25.0	31.3	2.0	6.3	100.0
うち死亡事故(件)	5	0	0	0	0	0	6	3	6	15	7	3	10	22	2	5	59
構成率	8.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.2	5.1	10.2	25.4	11.9	5.1	16.9	37.3	3.4	8.5	100.0

## 8 地形・道路形状・道路線形別

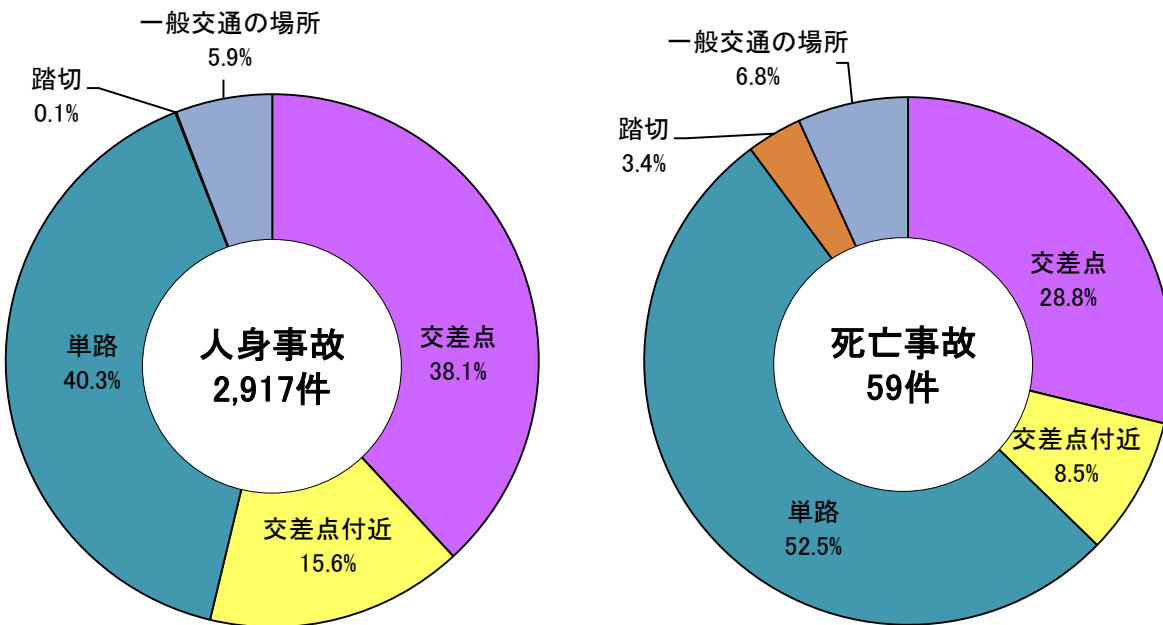
人身事故は市街地、死亡事故は非市街地で多く発生している。人身事故の約54%、死亡事故の約37%は交差点や交差点付近で発生している。



●交差点では、信号や一時停止規制を守り、左右の安全を確認しましょう。特に、歩行者や自転車の横断に注意しましょう。



※市街地とは、建造物が連立し、又はこれらが混在しており、市街地的形態をなしている地域をいう。



### ☆道路形状別

区分	環状交差点	交差点	環状交差点付近	交差点付近	単路	踏切	一般交通の場所	合計
人身事故(件)	0	1,112	0	456	1,176	2	171	2,917
構成率	0.0	38.1	0.0	15.6	40.3	0.1	5.9	100.0
うち死亡事故(件)	0	17	0	5	31	2	4	59
構成率	0.0	28.8	0.0	8.5	52.5	3.4	6.8	100.0

### ☆道路線形別

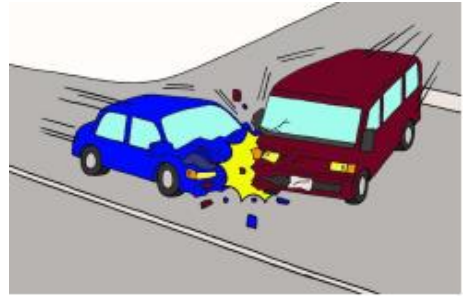
区分	カーブ・右	カーブ・左	直線	その他	合計
人身事故(件)	51	61	2,634	171	2,917
構成率	1.7	2.1	90.3	5.9	100.0
うち死亡事故(件)	5	5	45	4	59
構成率	8.5	8.5	76.3	6.8	100.0

# 9

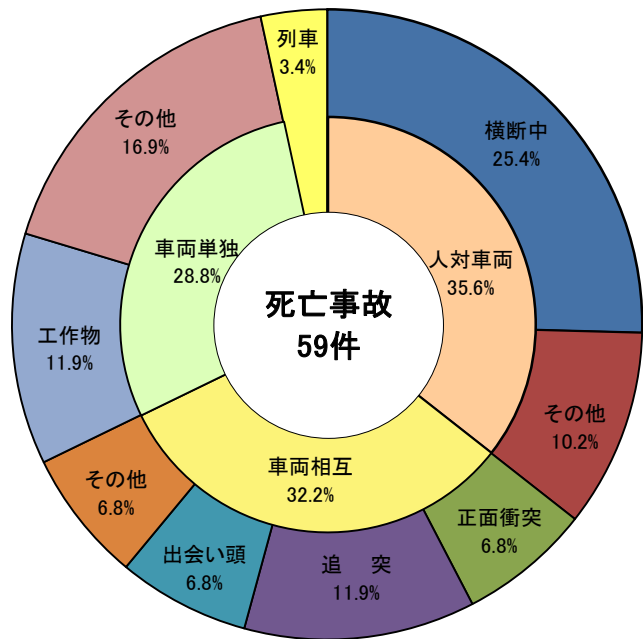
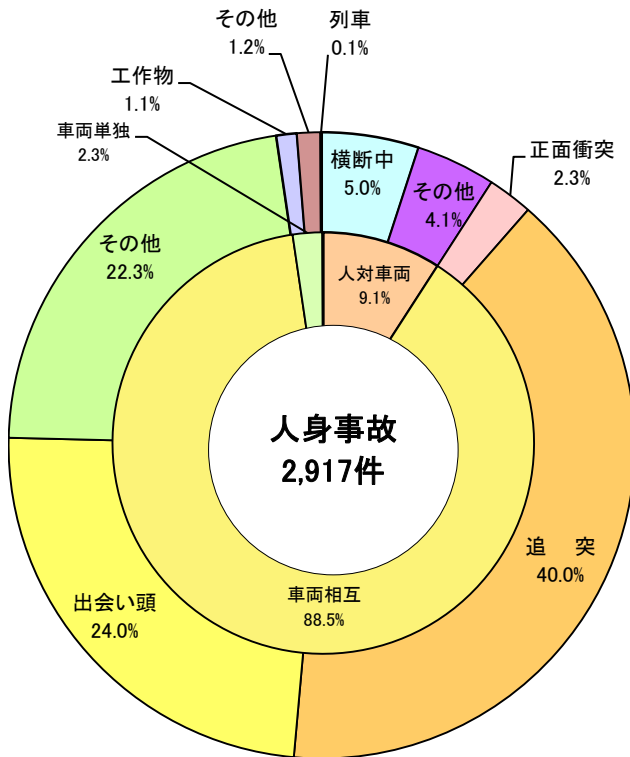
## 事故類型別

人身事故は、車両相互による追突事故が40%を占める。

死亡事故は、人对車両の歩行者の横断中の事故が多い。



● 追突事故は、緊張感欠如がもたらす最たる事故です。緊張感を持って、前方をよく見て、安全な速度で運転しましょう。



区分	人对車両					車両相互					車両単独				列車	合計
	対・背面通行	横断中		その他	小計	正面衝突	追突	出会い頭	その他	小計	工作物	路外逸脱	その他	小計		
		横断歩道	その他													
人身事故(件)	33	78	68	87	266	68	1,166	699	650	2,583	31	10	25	66	2	2,917
構成率	1.1	2.7	2.3	3.0	9.1	2.3	40.0	24.0	22.3	88.5	1.1	0.3	0.9	2.3	0.1	100.0
うち死亡事故(件)	2	4	11	4	21	4	7	4	4	19	7	9	1	17	2	59
構成率	3.4	6.8	18.6	6.8	35.6	6.8	11.9	6.8	6.8	32.2	11.9	15.3	1.7	28.8	3.4	100.0

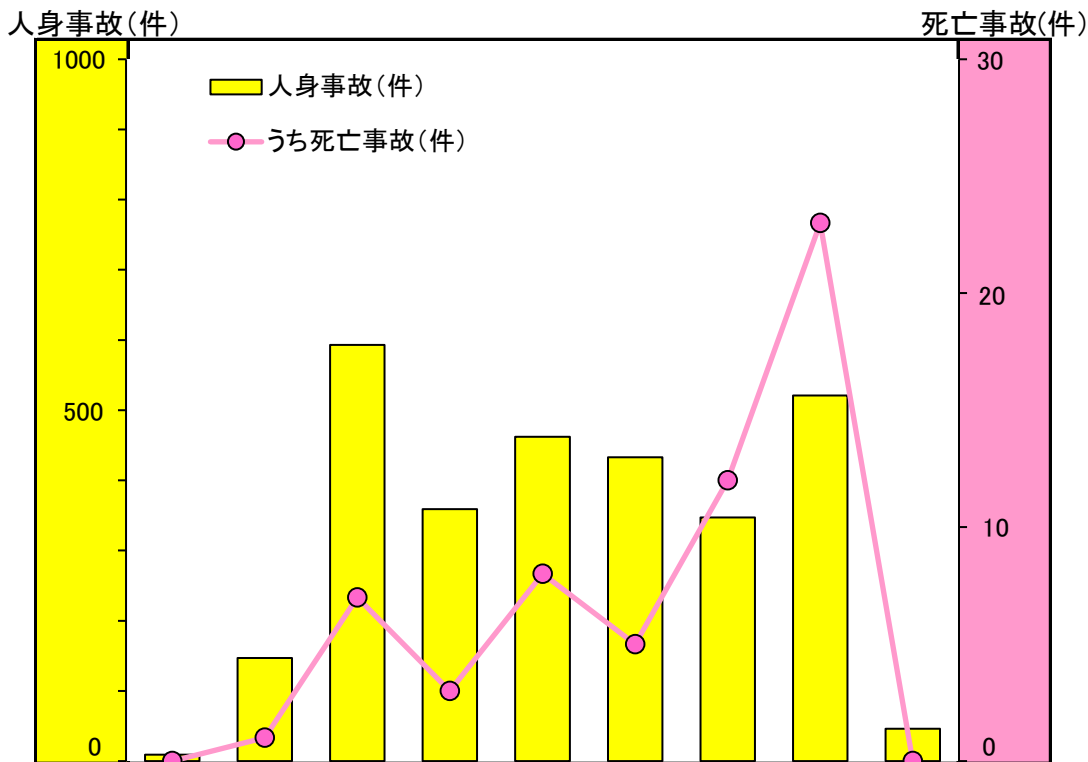
# 10 第1当事者の年齢層別

人身事故は20～29歳、死亡事故は70歳以上が最も多い。

第1当事者が高齢者である死亡事故が、全死亡事故の約49%を占めている。



●道路を利用する全ての人々が交通ルールを守り、お互いに注意して、交通事故を起こさないようにしましょう。



区分	10歳未満	10歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上	不明	合計	再掲			
											子(中学生以下)供	高校生	若(16歳～24歳)年者(高校生含む)	高(65歳以上)齢者
人身事故(件)	9	147	593	359	462	433	347	521	46	2,917	32	21	450	664
構成率%	0.3	5.0	20.3	12.3	15.8	14.8	11.9	17.9	1.6	100.0	1.1	0.7	15.4	22.8
うち死亡事故(件)	0	1	7	3	8	5	12	23	0	59	0	0	6	29
構成率%	0.0	1.7	11.9	5.1	13.6	8.5	20.3	39.0	0.0	100.0	0.0	0.0	10.2	49.2

# 11

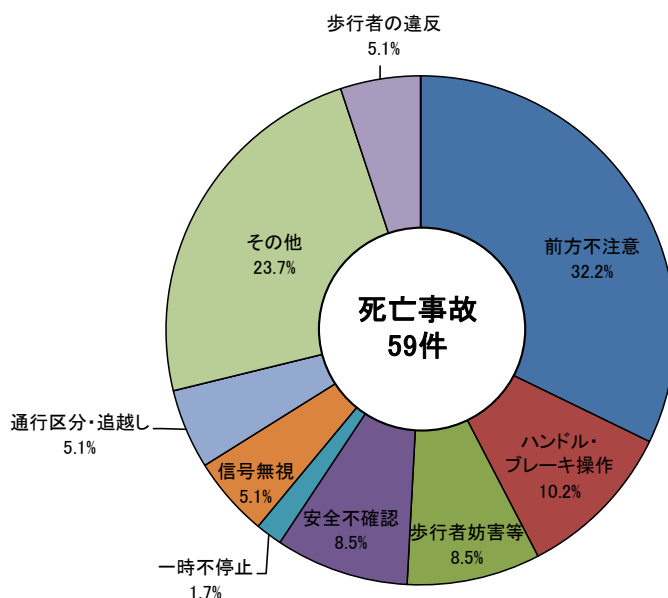
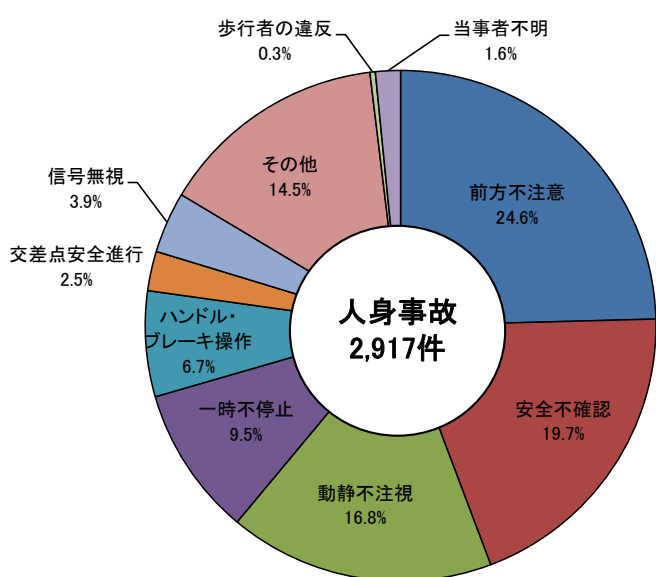
## 第1当事者の事故原因別

人身事故は、前方不注意、安全不確認、動静不注視による事故が全人身事故の60%を超えている。

死亡事故は、前方不注意、安全不確認による事故が全死亡事故の40%を超えている。



- 運転中は、脇見や携帯電話等のながら運転をせず、運転に集中し、常に進路前方や周囲の状況を確認しましょう。
- 自転車や歩行者は、車の動きに注意し、無理な横断などは絶対にやめましょう。



区分	車両等の違反																				歩行者の違反	当事者不明	合計	うち無免許
	信号無視	通行区分・追越し	最高速度	歩行者妨害等	横断自転車妨害等	一時不停止	酒酔	右折	優先通行妨害等	交差点安全進行	徐行場所	安全運転義務					その他	調査不能	小計					
												ハンドル・ブレーキ操作	前方不注意	動静不注視	安全不確認	その他								
人身事故(件)	113	24	5	90	29	276	8	17	138	73	33	195	717	490	574	49	22	8	2,861	10	46	2,917	27	
構成率	3.9	0.8	0.2	3.1	1.0	9.5	0.3	0.6	4.7	2.5	1.1	6.7	24.6	16.8	19.7	1.7	0.8	0.3	98.1	0.3	1.6	100.0	0.9	
うち死亡事故(件)	3	3	3	5	0	1	0	1	2	0	0	6	19	0	5	4	1	3	56	3	0	59	1	
構成率	5.1	5.1	5.1	8.5	0.0	1.7	0.0	1.7	3.4	0.0	0.0	10.2	32.2	0.0	8.5	6.8	1.7	5.1	94.9	5.1	0.0	100.0	1.7	

注 うち無免許とは、第1当事者が原付以上であった人身事故又は死亡事故のうち、当該第1当事者が無免許であった事故をいう。

歩行者の違反・・・信号無視、飛出し等

# 12 第1当事者の職業別

サービス業従事者（その他サービス業）が第1当事者となる事故が、人身事故の約43%を占めている。



●家庭や職場などで交通ルールを守ることの大切さを話し合しましょう。

1500 1000 500	人身事故 (件)	職業別	死亡事故 (件)	10 20 30		
				32	子供	0
	21	高校生	0			
	50	大学生	0			
	19	その他学生	2			
	145	職業運転者	7			
	85	公務員	1			
	20	農林業	1			
	10	漁業	1			
	5	鉱業	0			
	128	建設業	5			
	158	製造業	3			
	57	卸・小売業	0			
	22	金融保険業	1			
	4	不動産業	0			
	54	運輸・郵便業	1			
	2	通信業	0			
	20	電気・ガス・熱・水道業	1			
	1	学術研究	1			
	33	宿泊・飲食業	0			
	38	生活関連サービス	0			
	23	教育・学習支援業	0			
	150	医療・福祉	3			
	9	複合サービス業	0			
	1,258	その他サービス業	11			
	1	分類不能の産業	0			
	91	主婦・主夫	0			
	428	無職	20			
	0	外国人	0			
	53	その他	1			
	2,917	合計	59			

区分	子供	高校生	大学生	その他学生	職業運転者	公務員	農林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	卸・小売業	金融保険業	不動産業	運輸・郵便業
人身事故(件)	32	21	50	19	145	85	20	10	5	128	158	57	22	4	54
構成率	1.1	0.7	1.7	0.7	5.0	2.9	0.7	0.3	0.2	4.4	5.4	2.0	0.8	0.1	1.9
うち死亡事故(件)	0	0	0	2	7	1	1	1	0	5	3	0	1	0	1
構成率	0.0	0.0	0.0	3.4	11.9	1.7	1.7	1.7	0.0	8.5	5.1	0.0	1.7	0.0	1.7

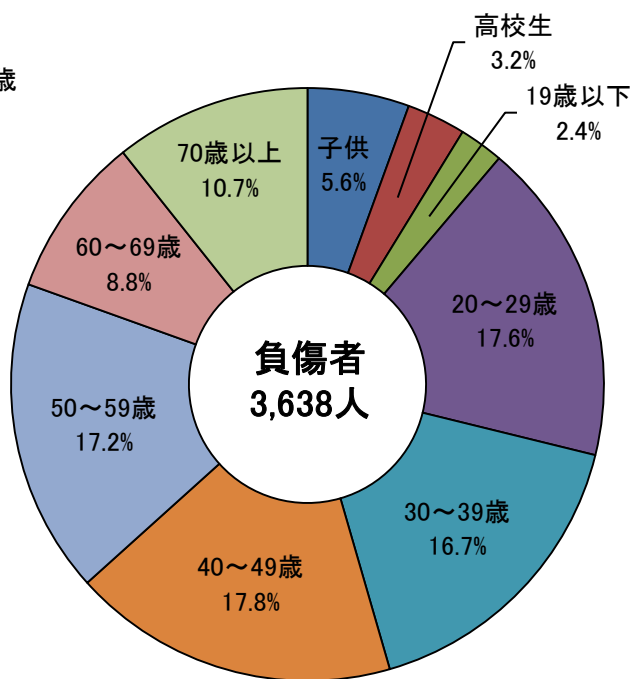
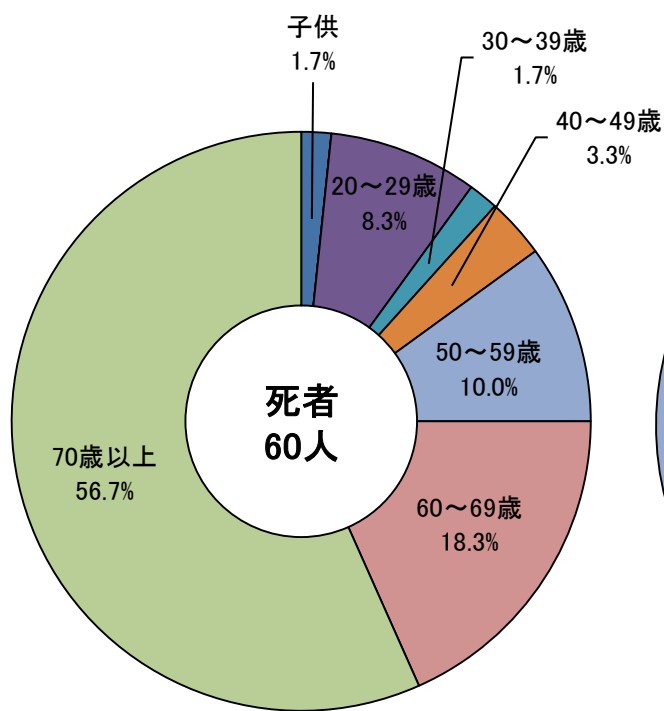
区分	通信業	水道・電気・ガス・熱	学術研究	宿泊・飲食業	生活関連サービス	教育・学習支援業	医療・福祉	複合サービス業	その他サービス業	分類不能の産業	主婦・主夫	無職	外国人	その他	合計
人身事故(件)	2	20	1	33	38	23	150	9	1,258	1	91	428	0	53	2,917
構成率	0.1	0.7	0.0	1.1	1.3	0.8	5.1	0.3	43.1	0.0	3.1	14.7	0.0	1.8	100.0
うち死亡事故(件)	0	1	0	0	0	0	3	0	11	0	0	20	0	1	59
構成率	0.0	1.7	1.7	0.0	0.0	0.0	5.1	0.0	18.6	0.0	0.0	33.9	0.0	1.7	100.0

# 13 死傷者の年齢層別

65歳以上の高齢者の死者が、全死者の約68%を占めている。



- 体力が落ちた、物が見にくくなったと感じることはありませんか？
- 思いやりの気持ちを持って、ゆとりのある運転に努めましょう。



区分	子供	高校生	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
死者数	1	0	0	5	1	2	6	11	34	60
構成率	1.7	0.0	0.0	8.3	1.7	3.3	10.0	18.3	56.7	100.0
負傷者数	202	117	88	642	607	648	624	321	389	3,638
構成率	5.6	3.2	2.4	17.6	16.7	17.8	17.2	8.8	10.7	100.0

再掲	
若年者 (16～24歳)	高齢者 (65歳以上)
5	41
8.3	68.3
483	532
13.3	14.6

※子供は、中学生以下をいい、年齢区分は、子供と高校生を除いた人数をいう。



# 14

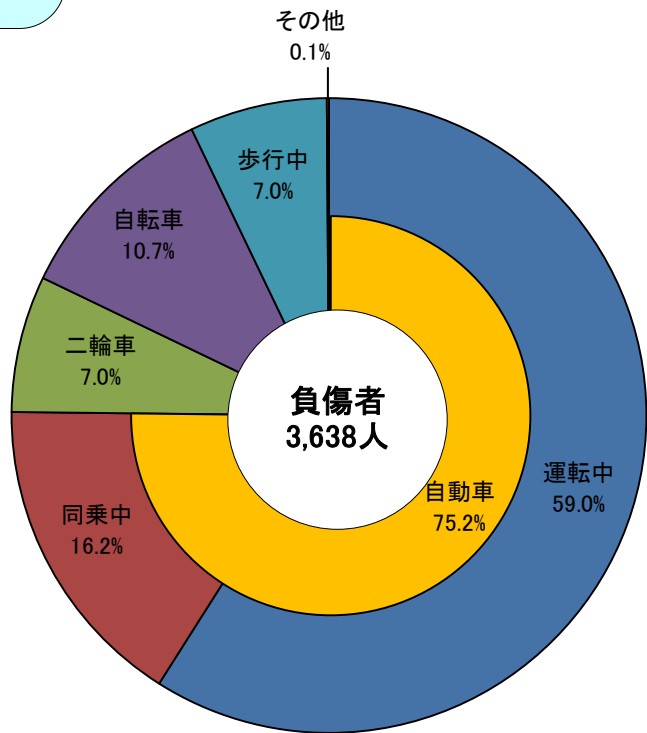
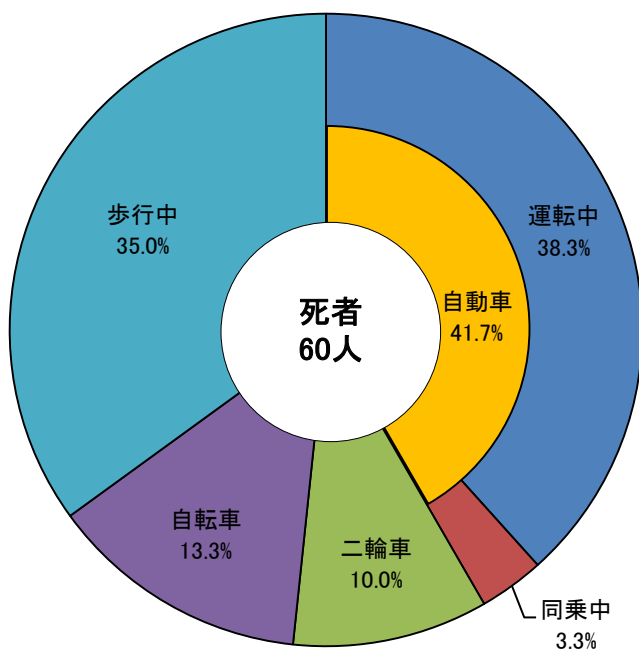
## 死傷者の状態別

自動車乗車中の負傷者が2,735人(約75%)で最も多い。

自転車乗用中、歩行中の死者が全死者の約48%を占めている。



- 道路を横断するときは、止まって左右の安全を確認してから横断しましょう。
- 近くに横断歩道があるときは、横断歩道を渡りましょう。



区分	運 転 中				同 乗 中				歩 行 中	そ の 他	合 計
	自 動 車	二 輪 車	自 転 車	小 計	自 動 車	二 輪 車	自 転 車	小 計			
死者数	23	5	8	36	2	1	0	3	21	0	60
構成率	38.3	8.3	13.3	60.0	3.3	1.7	0.0	5.0	35.0	0.0	100.0
負傷者数	2,146	249	389	2,784	589	4	2	595	255	4	3,638
構成率	59.0	6.8	10.7	76.5	16.2	0.1	0.1	16.4	7.0	0.1	100.0

# 15

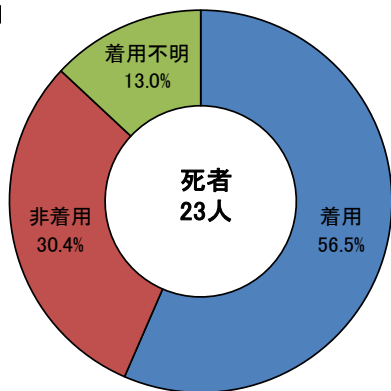
## シートベルトの着用状況

自動車運転中死者の着用率は約57%であり、負傷者の着用率の約98%と比べ低い。

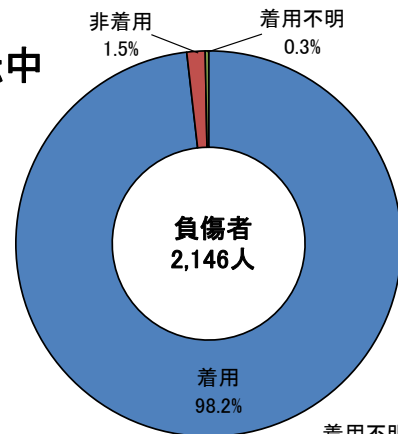


- シートベルト非着用死者8人中4人(50.0%)が、シートベルトを着用していれば助かったと推定されます。
- 後部座席を含め、自動車に乗車するときは全ての座席でシートベルトを確実に着用しましょう。

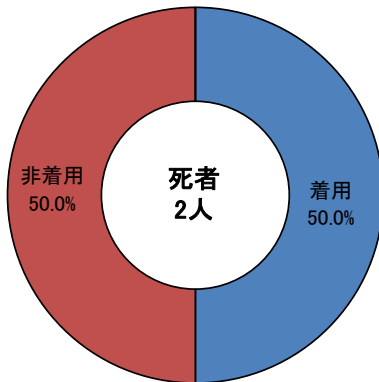
運転中



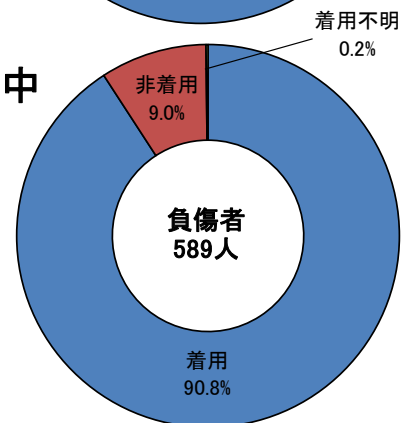
運転中



同乗中



同乗中



区分	自動車																特殊車		合計	
	大型車		中型車		準中型		普通車		軽自動車		ミニカー		小計		運転	同乗	運転	同乗	計	
	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗						
死者数	着用	0	0	0	0	1	0	4	1	8	0	0	0	13	1	0	0	13	1	14
	着用率%	0.0	-	-	-	50.0	-	80.0	100.0	53.3	0.0	-	-	56.5	50.0	-	-	56.5	50.0	56.0
	非着用	1	0	0	0	0	0	1	0	5	1	0	0	7	1	0	0	7	1	8
	着用不明	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	3	0	0	0	3	0	3
	計	1	0	0	0	2	0	5	1	15	1	0	0	23	2	0	0	23	2	25
負傷者数	着用	27	0	18	0	24	4	1,120	336	917	195	0	0	2,106	535	1	0	2,107	535	2,642
	着用率%	87.1	0.0	94.7	0.0	92.3	80.0	98.5	93.6	98.9	92.4	0.0	-	98.3	90.8	33.3	-	98.2	90.8	96.6
	非着用	3	13	1	1	2	1	14	23	9	15	2	0	31	53	2	0	33	53	86
	着用不明	1	0	0	0	0	0	3	0	1	1	1	0	6	1	0	0	6	1	7
	計	31	13	19	1	26	5	1,137	359	927	211	3	0	2,143	589	3	0	2,146	589	2,735

# 16

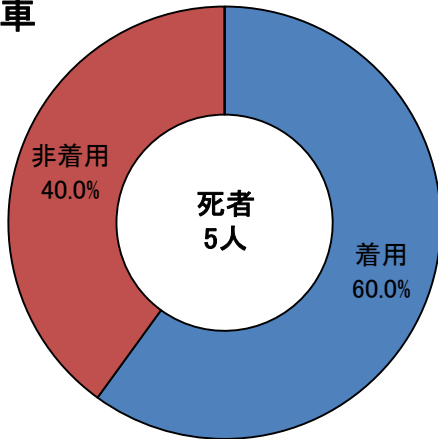
## ヘルメットの着用状況(自動二輪車・原付自転車)

死傷者の約2%がヘルメットを着用していない。

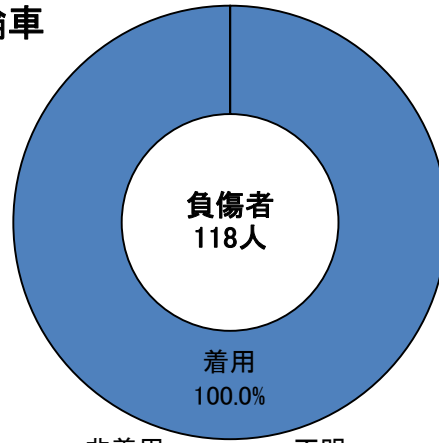
●ヘルメットは、あなたの命を守ります。  
正しく着用しましょう。



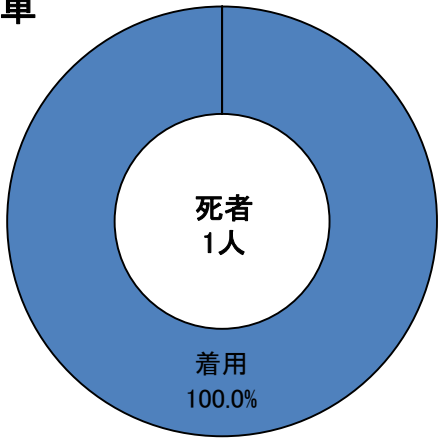
自動二輪車



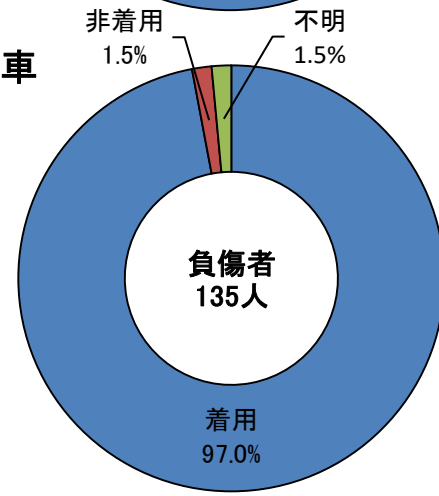
自動二輪車



原付自転車  
(50cc)



原付自転車  
(50cc)



区分	自動二輪													原付自転車		合計		
	小型二輪						軽二輪		原付二種		小計		運転	同乗	運転	同乗	計	
	751cc以上		401~750cc		251~400cc		126~250cc		51~125cc		運転	同乗						
死者数	着用	0	0	0	0	0	0	1	0	2			0	3	0	1	0	4
	着用率%	-	-	-	-	0.0	0.0	100.0	-	100.0	-	75.0	0.0	100.0	-	80.0	0.0	66.7
	非着用	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	2
	着用不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	1	1	1	0	2	0	4	1	1	0	5	1	6
負傷者数	着用	29	0	6	0	12	0	32	2	37	0	116	2	130	1	246	3	249
	着用率%	100.0	-	100.0	-	100.0	-	100.0	100.0	100.0	-	100.0	100.0	97.7	50.0	98.8	75.0	98.4
	非着用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	2
	着用不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	2
	計	29	0	6	0	12	0	32	2	37	0	116	2	133	2	249	4	253

# 第 4

## 各種の交通事故



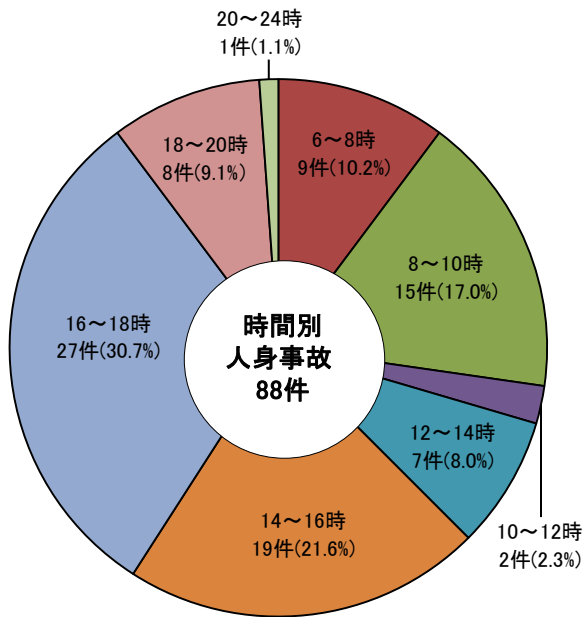
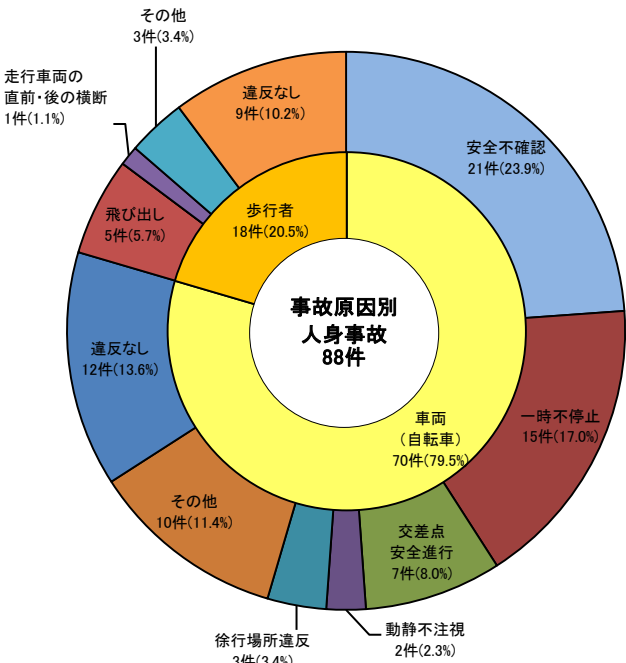
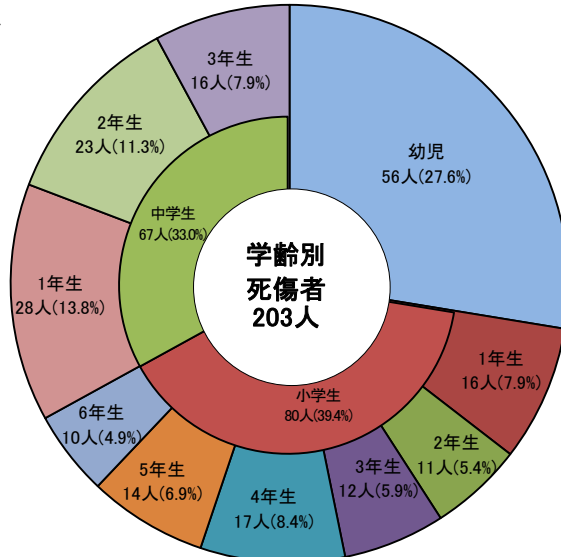
### 1 子供の交通事故

(幼児、小・中学生が関与した事故)

小学生の死傷者が子供の死傷者の約39%を占めている。

事故原因別では、自転車は安全不確認、歩行者は飛び出しが多い。

- 道路を横断するときは、止まって左右の安全を確認してから横断しましょう。
- 大人が手本となって交通ルールを教えましょう。



※子供同士の事故はなし  
※死者は1名

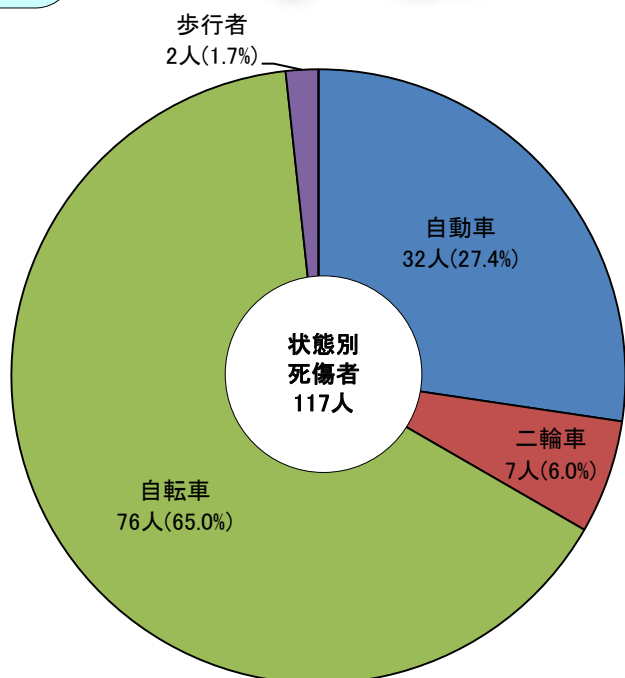
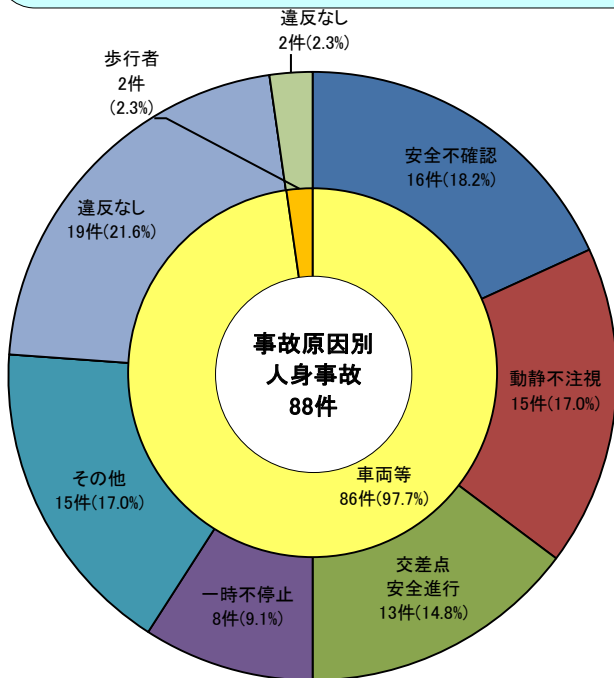
区分	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年
人身事故(件)	354	273	215	181	177	128	103	76	80	88
死者数	2	3	1	2	2	0	1	0	0	1
負傷者数	834	661	599	588	459	340	258	190	180	202
死傷者率	6.4	6.1	6.2	7.1	6.4	5.5	5.4	5.0	5.3	5.5

## 2 高校生の交通事故

自転車乗用中の死傷者が、65%を占めている。

車両等の事故原因別では、安全不確認や動静不注視が目立っている。

- 自転車乗用中の携帯電話・スマートフォン等の使用はやめましょう。
- 道路を横断する際、交差点を通行する際には確実な安全確認をしましょう。



※高校生同士の事故1件を重複計上

※車両等のうち原付以上による事故は8件、自転車による事故は78件

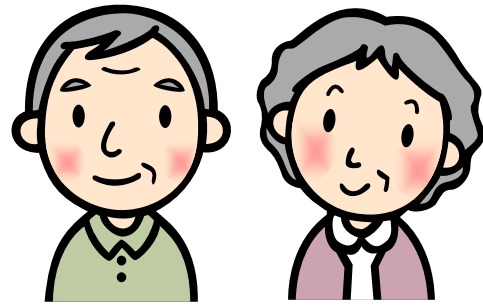
区分	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年
人身事故(件)	244	211	168	141	144	133	86	88	66	87
死者数	2	1	0	0	1	2	1	1	1	0
負傷者数	313	270	227	210	173	169	118	99	76	117
死傷者率	2.4	2.5	2.4	2.5	2.4	2.7	2.5	2.6	2.3	3.2

# 3 高齢者の交通事故

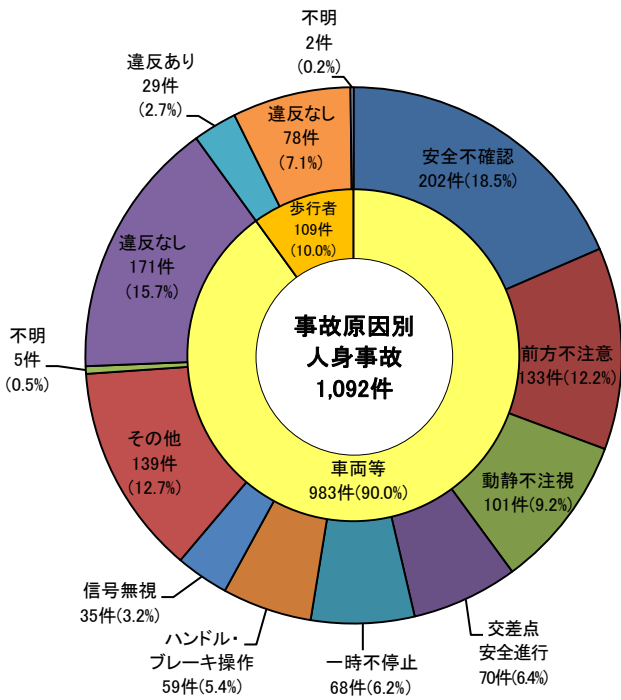
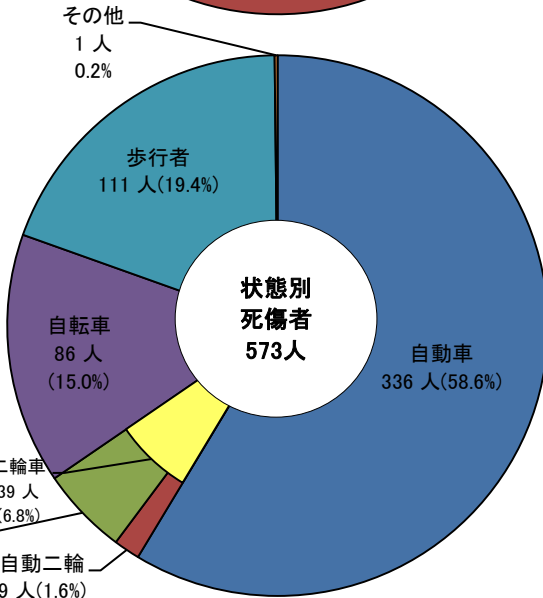
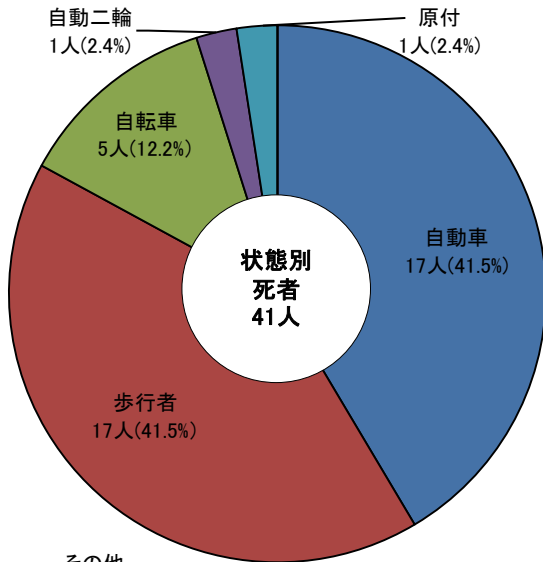
(年齢65歳以上の人に関与した事故)

## (1) 全体

状態別死者では、歩行者・自転車乗用中が約54%を占めている。



●体調、天候などは日々、変化するものです。自身の身体機能に合わせて、その時々状況に応じた慎重な交通行動をとりましょう。



※高齢者同士の事故132件を重複計上

※車両等のうち原付以上による事故は897件、自転車による事故は86件

区分	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年
人身事故(件)	2,767	2,330	2,151	1,843	1,638	1,509	1,204	987	883	960
死者数	49	57	52	52	37	57	42	39	40	41
負傷者数	1,892	1,647	1,448	1,224	999	959	755	574	491	532
死傷者率	15.0	15.7	15.6	15.5	14.4	16.3	16.7	16.1	15.6	15.5

## (2)高齢運転者

(年齢65歳以上で原付以上の運転者が第1当事者になった事故)

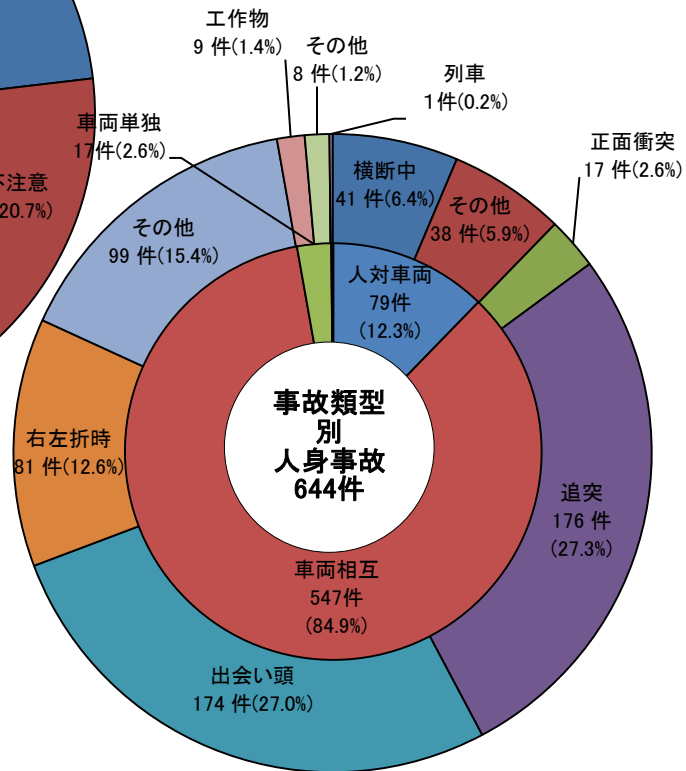
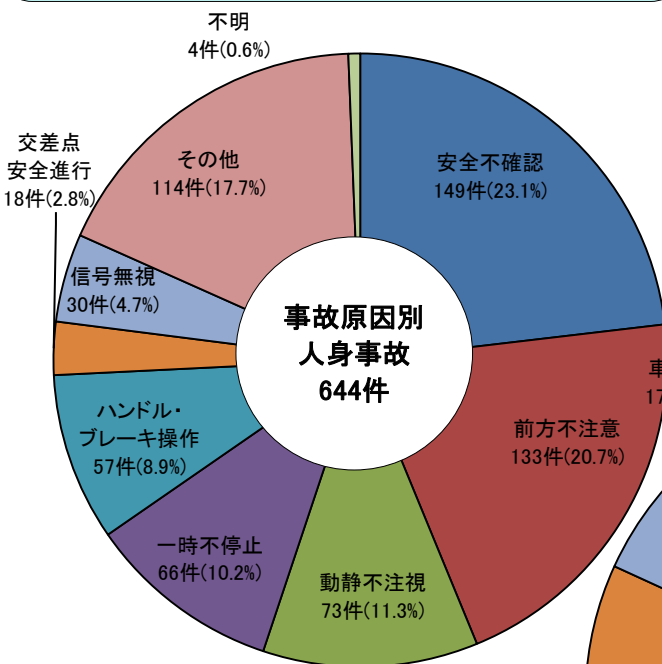
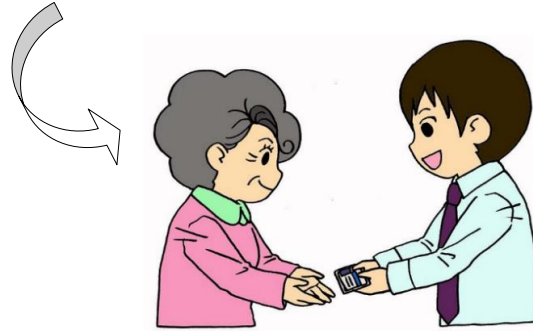
事故原因別では、安全不確認、前方不注意、動静不注視で全体の約55%を占めている。

事故類型別では、追突と出会い頭で約54%を占める。



運転に不安を感じたら  
免許証の自主返納も1つ  
の方法です。

- 運転中は、常に周囲の状況に注意を払い、安全運転を心掛けましょう。
- 高齢運転者標識を付けた自動車への幅寄せや割り込みはやめましょう。



区分	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年
人身事故(件)	1,702	1,416	1,331	1,136	1,041	968	783	663	581	644
構成率	18.1	18.3	19.4	19.8	20.1	21.5	22.5	23.5	22.4	23.2
うち死亡事故(件)	20	20	28	24	10	22	28	20	19	23
構成率	25.0	22.5	37.8	27.9	14.1	29.7	43.1	29.9	37.3	44.2

※構成率は、原付以上の運転者が第1当事者になった事故に占める高齢運転者による事故の割合

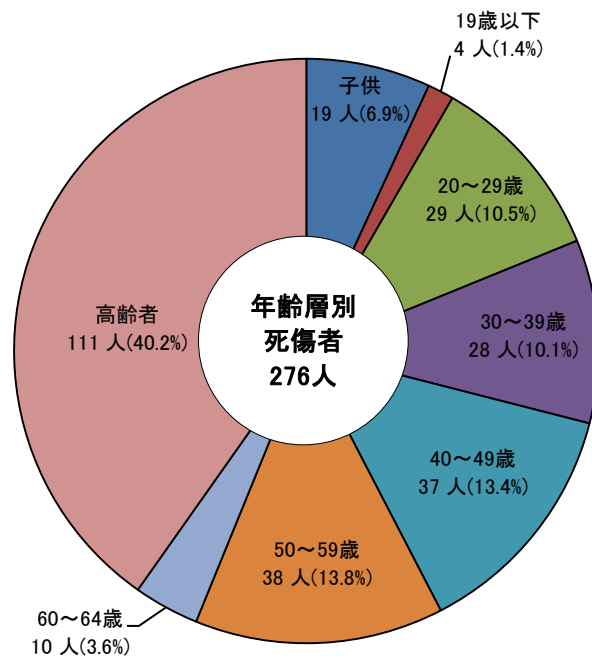
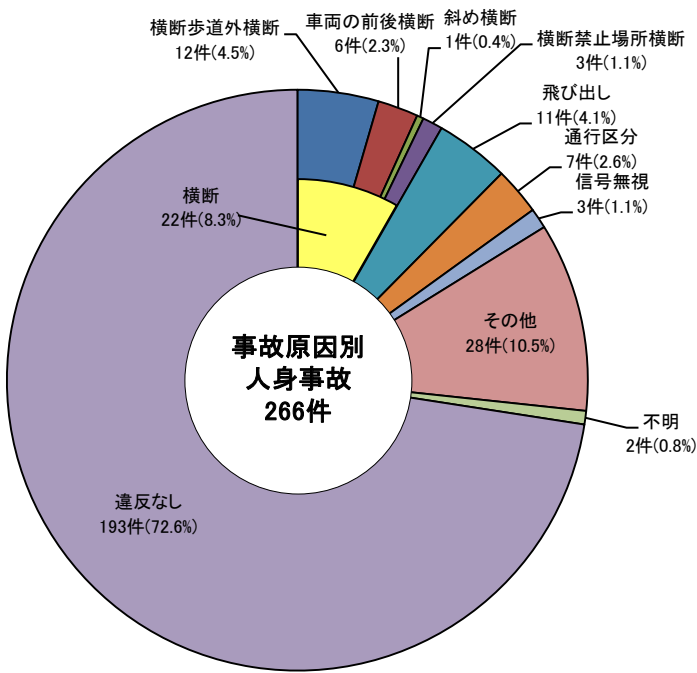
# 4 歩行者の交通事故

歩行者の約3割に何らかの違反があり、横断に関する違反が22件(8.3%)で最も多い。

年齢層別では、高齢者の死傷者が約40%を占めている。



- 道路を横断するときは、横断歩道を利用しましょう。
- 車のかげからの飛び出しは、危険ですから絶対にやめましょう。
- 夕暮れ時や夜間に外出するときは、明るい服装で反射材用品等を身に着けましょう。



※死者21人の内訳は、30~39歳1人、40~49歳1人、50~59歳1人、60~64歳1人、高齢者17人である。

区分	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年
人身事故(件)	731	592	552	479	486	398	331	331	301	266
死者数	33	36	28	37	26	25	24	26	21	21
負傷者数	733	578	549	467	490	382	329	320	288	255
死傷者率	5.9	5.7	6.0	6.1	7.2	6.5	7.4	9.1	9.1	7.5



# 5

## 自転車の交通事故

事故原因別では、安全不確認、交差点安全進行で全体の約38%を占めている。

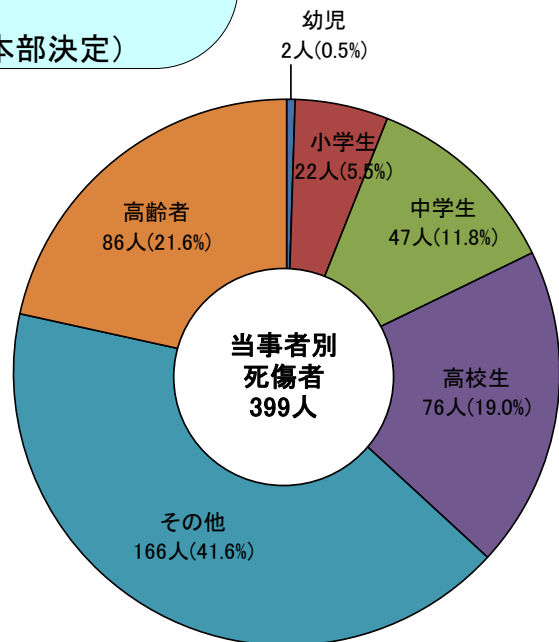
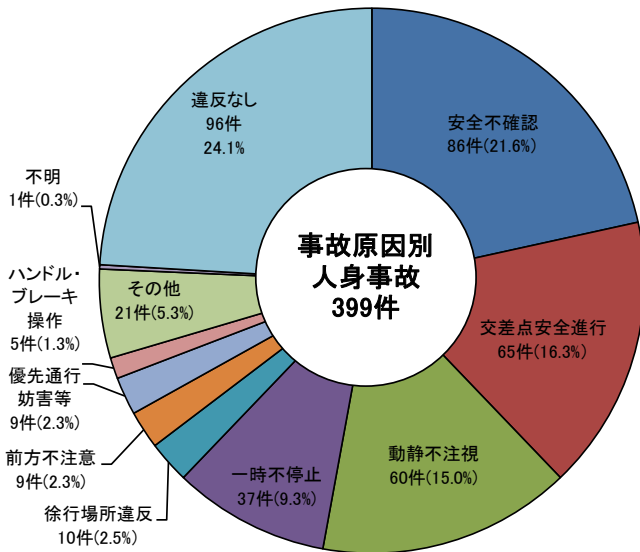
年齢層別では、高校生以下の死傷者が約37%を占めている。



### 自転車安全利用五則

- 1 車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先
- 2 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- 3 夜間はライトを点灯
- 4 飲酒運転は禁止
- 5 ヘルメットを着用

(令和4年11月1日交通対策本部決定)



※自転車同士の事故4件を重複計上

※ 死者8人の内訳は、中学生1人、高齢者5人、その他2人である。

区分	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年
人身事故(件)	1,150	954	750	633	635	531	426	372	339	395
死者数	8	18	12	12	15	14	6	9	10	8
負傷者数	1,143	939	737	621	613	511	424	355	328	391
死傷者率	8.9	8.8	7.8	7.7	8.7	8.4	9.0	9.6	9.9	10.8

# 6

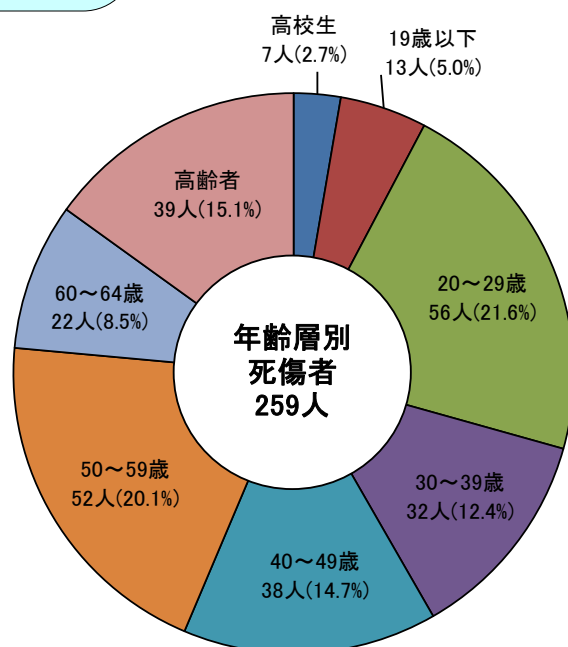
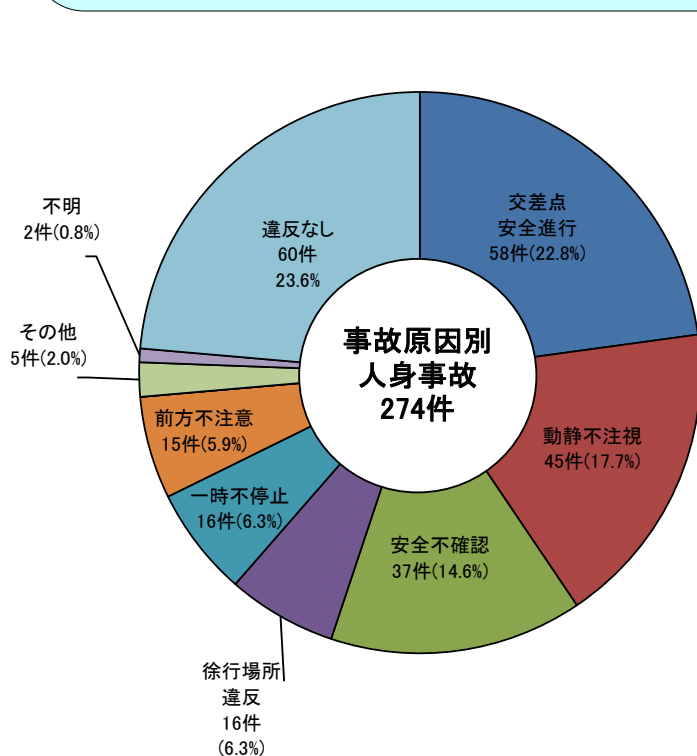
## 二輪車の交通事故

事故原因別では、交差点安全進行と動静不注視で全体の約38%を占めている。

年齢層別では、20～29歳の死傷者が、約22%を占めている。



- 一時停止の交通規制が実施されているところでは、必ず一時停止して、左右の安全を確認しましょう。
- 二輪車を運転するときは、正しい乗車姿勢を保ち、ヘルメットを正しく着用するとともに、プロテクターを着用しましょう。



※ 二輪車同士の事故3件を重複計上  
 ※ 無免許は5件

※ 死者6人の内訳は、20～29歳3人、  
 60～64歳1人、65歳以上2人である。

区分	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年
人身事故(件)	1,005	829	687	629	477	446	328	307	271	271
死者数	14	20	15	17	10	13	16	15	9	6
負傷者数	950	777	655	594	449	409	287	286	259	253
死傷者率	7.4	7.4	7.0	7.4	6.4	6.8	6.4	7.9	7.9	7.0

# 7

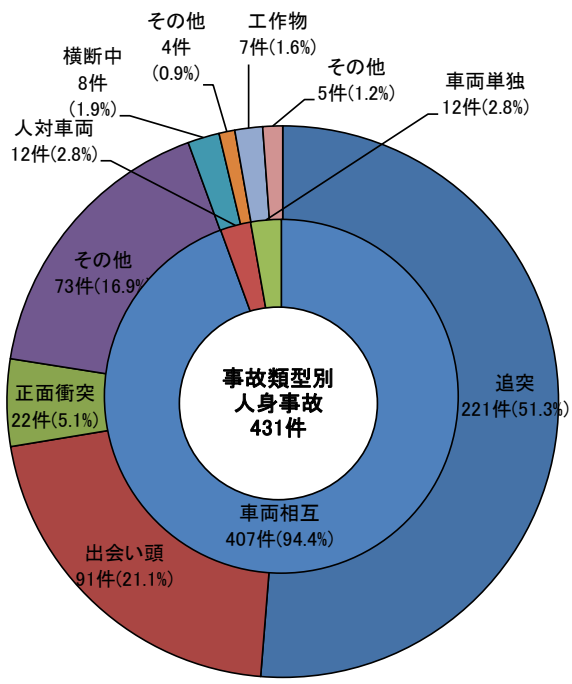
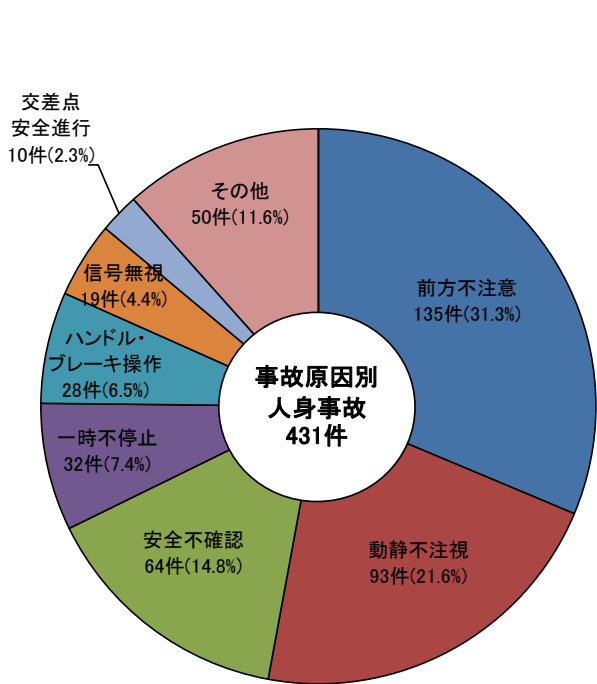
## 若年運転者の交通事故

(年齢16～24歳の原付以上の運転者が第1当事者となった事故)

人身事故の事故原因別では、前方不注意、動静不注意、安全不確認で全体の約68%を占め、事故類型別では追突が約51%を占めている。



- 速度が速いほど、停止距離が長く、衝突時の衝撃が大きくなります。安全な速度で運転しましょう。
- 交通ルールを遵守して、常に周囲の状況に注意を払いましょう。



区分	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年
人身事故(件)	1,563	1,294	1,155	977	850	741	567	454	374	431
構成率	16.7	16.7	16.9	17.0	16.4	16.5	16.3	16.1	14.4	15.5
うち死亡事故(件)	7	11	6	9	9	11	1	11	5	6
構成率	8.8	12.4	8.1	10.5	12.7	14.9	1.5	16.4	9.8	11.5

※構成率は、原付以上の運転者が第1当事者になった事故に占める若年運転者による事故の割合

# 8

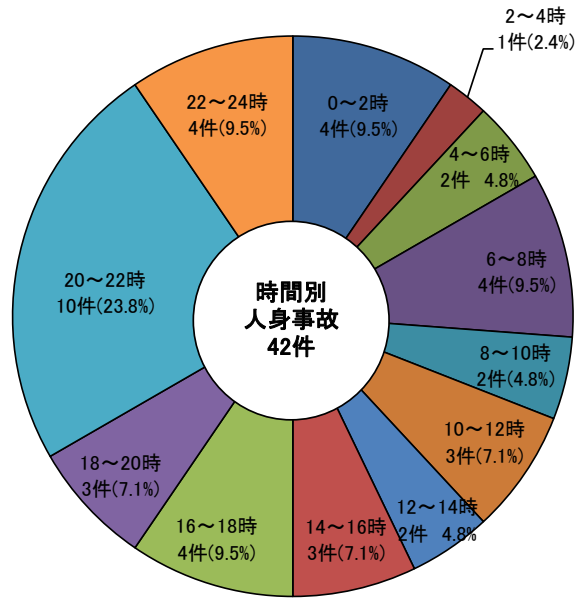
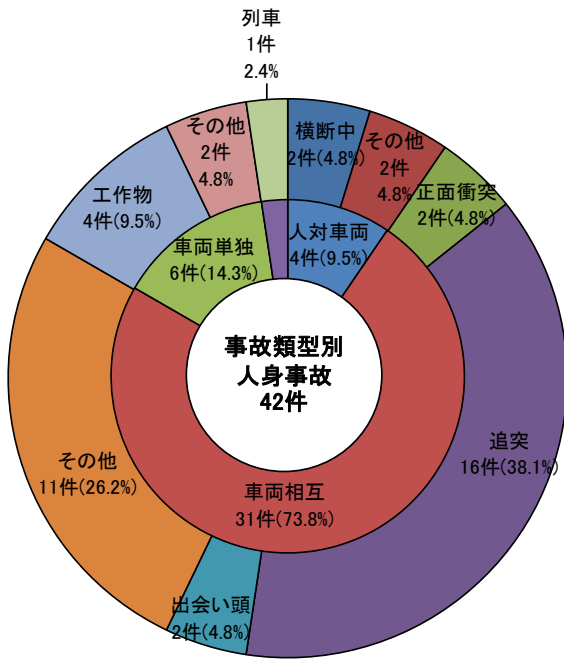
## 飲酒運転の交通事故

(原付以上の運転者が、飲酒運転をして第1当事者となった事故)

飲酒運転の人身事故は、事故類型別では追突が約38%を占め、時間別では20時～22時の発生が約24%と多い。



- アルコールの影響で適切な判断や運転操作ができず、事故を引き起こす危険性が高くなります。
- 一人一人が、飲酒運転は絶対に「しない」「させない」「許さない」ことを徹底し、飲酒運転を根絶しましょう。



※死亡事故は、人対車両、車両相互、車両単独、列車がそれぞれ1件であった。  
 ※死亡事故は、20～22時に4件発生した。

区分	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年
人身事故(件)	63	55	44	36	34	42	36	37	28	42
構成率	0.7	0.7	0.6	0.6	0.7	0.9	1.0	1.3	1.1	1.5
うち死亡事故(件)	3	9	1	1	5	3	2	5	1	4
構成率	3.8	10.1	1.4	1.2	7.0	4.1	3.1	7.5	2.0	7.7

※構成率は、原付以上の運転者が第1当事者になった事故に占める飲酒運転者による事故の割合

## ■車両の事故原因

- ◇信号無視 .....信号機の設けられている交差点で、赤又は黄色信号等を見逃して交差点に進入して事故を起こした場合等をいう。
- ◇通行区分 .....センターラインを超えて、対向車線に進入して対向車と正面衝突した場合等をいう。
- ◇追い越し .....追い越し禁止場所や無理な追い越しをして、対向車等と衝突した場合をいう。
- ◇最高速度 .....法定(指定)速度を超えて走行したため、歩行者の発見が遅れて衝突したり、カーブ路を曲がれなかったために事故を起こした場合等をいう。
- ◇歩行者妨害等 .....横断歩道を横断中の歩行者や自転車横断帯を横断中の自転車の発見が遅れたために衝突した場合等をいう。
- ◇一時不停止 .....一時停止の標識・道路標示のある交差点で、一時停止することなく、交差点に進入したために交差道路から走行してきた車両と衝突した場合等をいう。
- ◇酒酔い .....飲酒により正常な運転ができない状態で、車両を運転したために事故を起こした場合をいう。
- ◇右・左折 .....右・左折禁止場所で右・左折をしたために事故を起こしたり、原付の二段階右折をしなかったために事故を起こした場合等をいう。
- ◇優先通行妨害 .....交差点で右折する時に直進車両と衝突したり、明らかに優先道路を走行している車両と衝突した場合等をいう。
- ◇交差点安全進行 .....交差点で、交差道路から走行してきた車両に特に注意しなかったために衝突したり、反対方向からの右折車両に特に注意しなかったために衝突した場合等をいう。
- ◇徐行場所 .....左右の見とおしの悪い交差点や急な道路の曲がりかど付近等で減速徐行しなかったために交差道路から走行してきた車両や対向車と衝突した場合等をいう。
- ◇ハンドル・ブレーキ操作 .....カーブ路等で急ハンドルを切ったためにガードレールに衝突したり、急ブレーキを踏んだためにスリップして前車に追突した場合等をいう。
- ◇前方不注意 .....考え事やぼんやりしていたり、脇見をしていたために前を良く見ていなかったために停止した前車に気づくのが遅れ追突した場合をいう。
- ◇動静不注視 .....相手(車両・歩行者)の動きを良く見ていなかったために、相手の動きに対応できずに衝突した場合等をいう。
- ◇安全不確認 .....前方・左右・後方に対する安全確認を怠ったために衝突した場合等をいう。
- ◇安全速度 .....カーブ路等で道路状況・環境に応じた速度で走行しなかったために路外へ逸脱したり、飛び出した歩行者と衝突した場合等をいう。

## ■歩行者の事故原因

- ◇飛び出し .....安全を確認しないで路上に飛び出したために、車両等と衝突した場合をいう。
- ◇車両の前後横断 .....駐車車両の直前・直後から横断したり、走行車両の直前・直後から横断したために車両等と衝突した場合をいう。
- ◇横断歩道外横断 .....横断歩道が付近にある場所で横断歩道を利用せずに横断したために車両等と衝突した場合をいう。
- ◇横断禁止場所横断 .....道路標識又は道路標示により横断が禁止されている道路で横断したために車両等と衝突した場合をいう。
- ◇幼児のひとり歩き .....児童等(13歳未満)が保護者を伴わずに一人歩きをしていたために、車両等と衝突した場合をいう。
- ◇めいてい・はいかい .....道路において、酒に酔ってふらついたり、寝そべり等の交通妨害をしていたために車両等と衝突した場合をいう。